

平成27年(2015年)7月の結果 (二人以上の世帯)

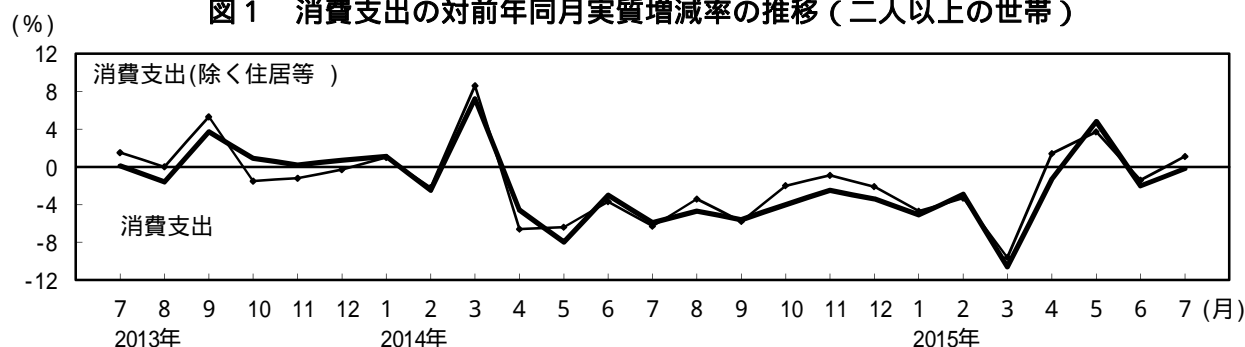
二人以上の世帯

・消費支出は、	1世帯当たり 280,471 円		
前年同月比	実質 0.2%の減少	前月比(季節調整値)	実質 0.6%の増加
	名目 0.1%の増加		
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 244,817 円		
前年同月比	実質 1.1%の増加	前月比(季節調整値)	実質 1.1%の増加
	名目 1.4%の増加		
・勤労者世帯の実収入は、	1世帯当たり 587,156 円		
前年同月比	実質 5.4%の増加		
	名目 5.7%の増加		

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

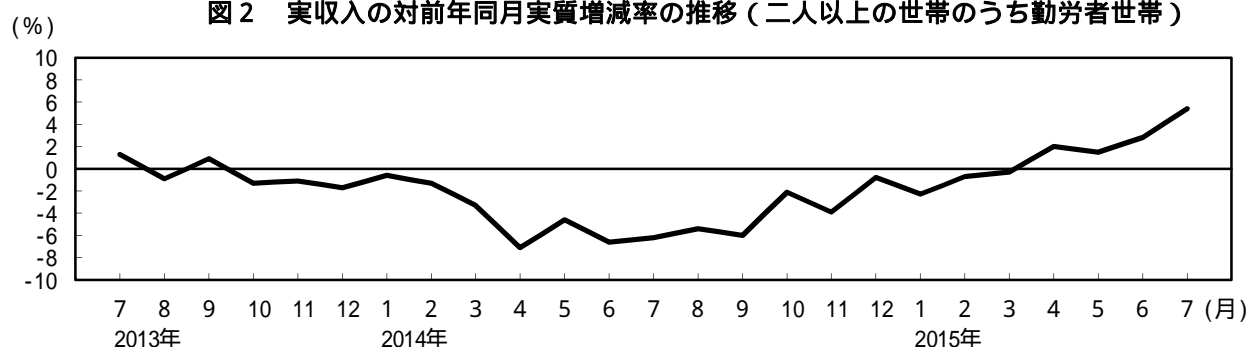
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2014年						2015年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
消費支出	-5.9	-4.7	-5.6	-4.0	-2.5	-3.4	-5.1	-2.9	-10.6	-1.3	4.8	-2.0	-0.2
消費支出(除く住居等)	-6.3	-3.4	-5.8	-2.0	-0.9	-2.1	-4.7	-3.3	-9.6	1.4	3.7	-1.4	1.1

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2014年						2015年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
実収入	-6.2	-5.4	-6.0	-2.1	-3.9	-0.8	-2.3	-0.7	-0.3	2.0	1.5	2.8	5.4
可処分所得	-5.2	-5.2	-5.9	-2.4	-3.9	-0.3	-2.5	-0.5	-1.1	2.3	1.5	1.7	5.0
消費支出	-3.6	-6.0	-7.3	-3.4	-1.2	-3.0	-4.3	-3.6	-11.0	0.5	7.5	-1.4	0.7
平均消費性向*	1.2	-0.6	-1.4	-0.8	2.4	-1.3	-1.6	-2.3	-10.7	-1.5	5.5	-1.6	-2.8

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2015年7月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率 へ の 寄 与 度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	280,471	0.1	-0.2	-		2 か月連続の実質減少
食 料	71,506	4.4	1.9	0.46	<増 加> 外食,飲料など	2 か月ぶりの実質増加
住 居	17,517	-4.8	-5.3	-0.34	<減 少> 設備修繕・維持,家賃地代	2 か月連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	18,580	-1.7	3.1	0.21	<増 加> ガス代,上下水道料	4 か月連続の実質増加
家具・家事用品	12,313	5.0	3.7	0.15	<増 加> 家庭用耐久財,寝具類など	2 か月ぶりの実質増加
被 服 及 び 履 物	11,552	2.6	1.2	0.05	<増 加> 洋服,履物類	2 か月ぶりの実質増加
保 健 医 療	12,557	1.9	1.1	0.05	<増 加> 保健医療用品・器具,医薬品	4 か月連続の実質増加
交 通 ・ 通 信	41,188	-0.5	1.8	0.28	<増 加> 交通,通信	2 か月ぶりの実質増加
教 育	8,631	-2.6	-3.9	-0.12	<減 少> 補習教育,授業料など	3 か月ぶりの実質減少
教 養 娛 楽	29,878	6.9	5.6	0.56	<増 加> 教養娯楽サービス,教養娯楽用耐久財など	16 か月ぶりの実質増加
その他の消費支出	56,748	-7.0	(-7.3)	(-1.58)	<減 少> 諸雑費,交際費など	2 か月連続の実質減少
消 費 支 出 (除 く 住 居 等)	244,817	1.4	1.1	-		2 か月ぶりの実質増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

諸雑費	[-0.70]	婚礼関係費,葬儀関係費
交際費	[-0.41]	贈与金,住宅関係負担費
設備修繕・維持	[-0.25]	設備器具,給排水関係工事費
保健医療サービス	[-0.11]	他の入院料*
自動車等関係費	[-0.08]	自動車購入,自動車等関連用品

< 増加項目 >

教養娯楽サービス	[0.45]	国内パック旅行費
交通	[0.21]	鉄道通勤定期代,鉄道運賃
外食	[0.20]	飲酒代,すし(外食)
家庭用耐久財	[0.19]	エアコンディショナ,炊事用電気器具
洋服	[0.16]	婦人服,婦人用スラックス

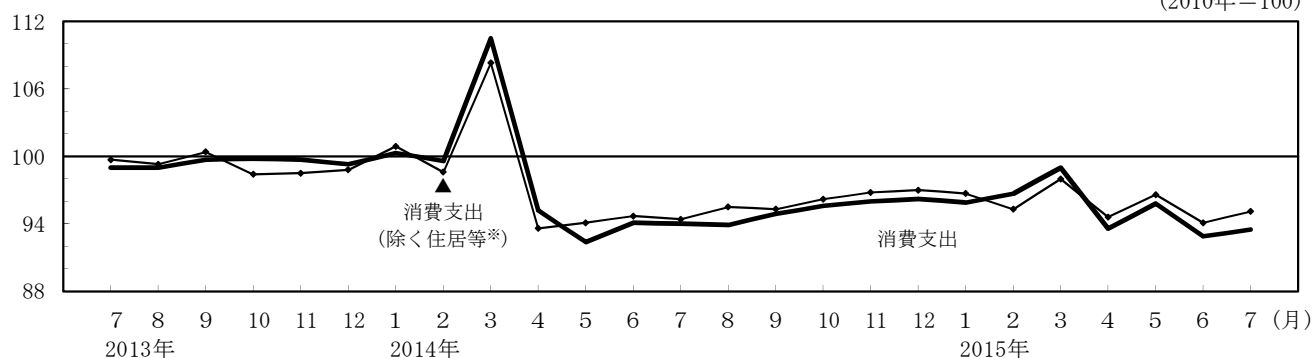
注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

(2010年=100)



	2014年						2015年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
消費支出	94.0	93.9	94.9	95.6	96.0	96.2	95.9	96.7	99.0	93.6	95.8	92.9	93.5
対前月変化率(%)	-0.1	-0.1	1.1	0.7	0.4	0.2	-0.3	0.8	2.4	-5.5	2.4	-3.0	0.6
消費支出(除く住居等*)	94.4	95.5	95.3	96.2	96.8	97.0	96.7	95.3	98.0	94.6	96.6	94.1	95.1
対前月変化率(%)	-0.3	1.2	-0.2	0.9	0.6	0.2	-0.3	-1.4	2.8	-3.5	2.1	-2.6	1.1

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2015年7月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	587,156	5.7	5.4	—	4か月連続の実質増加
世 帯 主 収 入	488,132	4.1	3.8	3.18	2か月連続の実質増加
定 期 収 入	349,399	1.3	1.0	0.62	18か月ぶりの実質増加
臨時収入・賞与	138,733	11.8	11.5	2.56	
配 偶 者 の 収 入	76,189	23.9	23.5	2.60	4か月連続の実質増加
他の世帯員収入	8,162	-14.7	-15.0	-0.26	6か月ぶりの実質減少
非 消 費 支 出	115,098	7.7	—	—	7か月連続の増加
可 処 分 所 得	472,058	5.3	5.0	—	4か月連続の実質増加
消 費 支 出	314,788	1.0	0.7	—	2か月ぶりの実質増加
平均消費性向(%)	(前年同月) (ポイント差)				季節調整値でみると、71.4%で、前月に比べ、2.3ポイントの低下となった。
	66.7	69.5	-2.8		

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。